

基金運用状況審査意見書

28 福 監 第 124 号
平成 28 年 9 月 9 日

福島県知事 内 堀 雅 雄 様

福島県監査委員 柳 沼 純 子
福島県監査委員 宮 下 雅 志
福島県監査委員 美 馬 武千代
福島県監査委員 菅 家 惣一郎

平成27年度基金運用状況審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第241条第5項の規定に基づき、平成28年8月8日付けで審査に付された平成27年度の下記基金の運用状況について審査した結果は、次のとおりであります。

記

福島県市町村振興基金

福島県土地取得基金

福島県難視聴地域解消基金

福島県企業立地資金貸付基金

福島県美術品等取得基金

基金運用状況審査意見

目 次

	ページ
第 1 審査の概要	1
1 審査の対象	1
2 審査の期間	1
3 審査の手続	1
第 2 審査の結果及び意見	1
1 審査の結果	1
2 意 見	1
第 3 審査の経過	2
福島県市町村振興基金	2
福島県土地取得基金	4
福島県難視聴地域解消基金	5
福島県企業立地資金貸付基金	6
福島県美術品等取得基金	7

平成27年度基金運用状況審査意見

第 1 審査の概要

1 審査の対象

平成27年度福島県市町村振興基金

平成27年度福島県土地取得基金

平成27年度福島県難視聴地域解消基金

平成27年度福島県企業立地資金貸付基金

平成27年度福島県美術品等取得基金

2 審査の期間

平成28年8月8日から同年9月9日まで

3 審査の手続

平成27年度の基金の運用状況に関する審査に当たっては、地方自治法第241条第2項の規定に基づき、各基金条例で定める目的に沿って運用されているか否かに重点を置くとともに、予算議決の趣旨を勘案し、併せて定期監査及び例月出納検査の結果を踏まえて慎重に審査を行った。

第 2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

審査に付された基金運用状況調書の計数は、関係諸帳簿及び証書類の計数と符合しており、各基金は、適正に運用されたものと認められる。

2 意見

各基金については、その設置目的に従って、より一層の有効活用に努められたい。

第 3 審 査 の 経 過

○ 福島県市町村振興基金

1 基金の額

基金の額は19,063,804,242円である。

2 設置の目的

建設事業又は財政の健全化に資する事業等の財源として必要な資金を市町村に対して貸し付けるための資金に充てるため、設置されたものである。

3 運用の状況

(1) 貸付けの状況

区分 事業種別	平成 27 年 度				平成 26 年 度			
	貸付団体数	事業費	貸付額	構成比	貸付団体数	事業費	貸付額	構成比
		円	円	%		円	円	%
一般事業	3	166,016,000	118,000,000	21.5	1	107,028,000	80,200,000	16.0
特別事業	4	2,188,260,000	186,800,000	33.9	4	1,655,286,000	202,700,000	40.3
準過疎地域振興事業	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
復旧復興事業	2	1,878,238,000	245,600,000	44.6	2	1,656,636,000	219,900,000	43.7
公債費負担軽減事業	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
公社等経営健全化事業	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
合計	延べ9	4,232,514,000	550,400,000	100.0	延べ7	3,418,950,000	502,800,000	100.0

平成27年度の貸付けは、延べ9団体550,400,000円で、貸付額は申請額と同額である。

前年度と比較して、貸付団体数は2団体増加し、貸付額は47,600,000円増加している。

(2) 償還の状況

平成27年度の約定償還額1,094,588,514円は、全額が期限内に償還されている。

平成27年度末貸付残高は8,821,691,611円である。

(3) 運用益金は48,493,864円となり、これは貸付金利子収入43,007,651円及び預金利子収入5,486,213円である。

また、運用益金から事務費を差し引いた運用純益金46,549,039円を基金に積立てしている。

(4) 保管現金は、平成27年度末現在高10,242,112,631円で、定期性預金（大口定期、譲渡性預金）及び当座預金として出納局で一元管理されている。

4 基金の額は、平成26年度末19,017,255,203円であったが、運用純益金46,549,039円を積立てしたため、平成27年度末19,063,804,242円となっている。

○ 福島県土地取得基金

1 基金の額

基金の額は6,339,675,101円である。

2 設置の目的

公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために必要な土地をあらかじめ取得するための資金に充てるため、設置されたものである。

3 運用の状況

(1) 繰出し及び繰戻しの状況

事業名	平成26年度末繰戻未済額 (A)	平成27年度		平成27年度末繰戻未済額 (A) + (B) - (C)
		繰出額 (B)	繰戻額 (C)	
都市計画事業	円 0	円 0	円 0	円 0
道路事業	30,331,413	102,369,608	30,331,413	102,369,608
代替地取得事業	0	9,280,000	9,280,000	0
用地先行取得事業	1,232,184	43,932,389	1,232,184	43,932,389
流域下水道事業	0	0	0	0
空港用地取得事業	0	0	0	0
合計	31,563,597	155,581,997	40,843,597	146,301,997

(2) 運用益金は3,749,373円となり、これは預金利子収入、債権収入及び貸付で、運用益金から事務費を差し引いた運用純益金3,735,373円を基金に積立している。

(3) 保管現金は、平成27年度末現在高6,193,373,104円で、定期性預金（大口定期、譲渡性預金）及び当座預金として出納局で一元管理されている。

(4) 保管する有価証券は、平成27年度に満期償還となったため、現在高0円である。

4 基金の額は、平成26年度末6,335,939,728円であったが、当年度において運用純益金3,735,373円を積立てたため、平成27年度末6,339,675,101円となっている。

○ 福島県難視聴地域解消基金

1 基金の額

基金の額は144,443,000円である。

2 設置の目的

テレビジョン放送の受信が困難である地域を解消するための事業を行う放送事業者（放送法（昭和25年法律第132号）第2条第3号の2に規定する放送事業者をいう。）に対し当該事業に必要な資金を貸し付けるための資金に充てるため、設置されたものである。

3 運用の状況

(1) 貸付けの状況

平成27年度の新たな貸付けはなかった。

(2) 償還の状況

平成27年度末の貸付残高は105,336,667円である。

(3) 運用益金は136,833円となり、これは預金利子収入及び償還額利子で全額一般会計の歳入となっている。

(4) 保管現金は、平成27年度末現在高39,106,333円で、定期性預金（大口定期、譲渡性預金）及び当座預金として出納局で一元管理されている。

4 基金の額は、平成26年度末144,443,000円と同額である。

○ 福島県企業立地資金貸付基金

1 基金の額

基金の額は1,031,030,303円である。

2 設置の目的

発電用施設の周辺地域における企業立地の促進のための資金の貸付けを行うため、設置されたものである。

3 運用の状況

(1) 貸付けの状況

区 分	平成 27 年 度	平成 26 年 度
	円	円
基金から金融機関への貸付額	0	0
金融機関から企業への融資額	0	0

平成27年度は金融機関への貸付け、金融機関からの融資とも実績はない。

(2) 償還の状況

平成27年度の約定償還額109,250,000円は、全額が期限内に償還されている。

平成27年度末貸付残高は261,880,000円である。

(3) 運用益金は484,739円となり、これは預金利子収入で全額運用純益金として基金に積立てしている。

(4) 保管現金は、平成27年度末現在高769,150,303円で、定期性預金（大口定期、譲渡性預金）及び当座預金として出納局で一元管理されている。

4 基金の額は、平成26年度末1,430,545,564円であったが、東日本大震災等の復旧・復興を図る企業に対する補助金の財源として、原資400,000,000円を取崩し、運用純益金484,739円を積立てたため、平成27年度末1,031,030,303円となっている。

○ 福島県美術品等取得基金

1 基金の額

基金の額は724,920,000円である。

2 設置の目的

美術品及び博物館資料の取得を円滑かつ効率的に行うため、設置されたものである。

3 運用の状況

(1) 基金による美術品等の取得及び払出しの状況

美術品等の取得及び払出しはなかったため、平成27年度末の動産（美術品等）の現在高は187点、652,823,763円である。

(2) 運用益金は56,761円となり、これは預金利子収入で全額一般会計の歳入となっている。

(3) 保管現金は、平成27年度末現在高72,096,237円で、定期性預金（大口定期、譲渡性預金）及び当座預金として出納局で一元管理されている。

4 基金の額は、平成26年度末724,920,000円と同額である。

